



研究報告第 33 号 (3 月 1 日発行) (http://www.town.mukawa.lg.jp/3389.htm) の内容紹介②

北海道から 2 & 3 例目のプラビトセラス

プラビトセラス・シグモイダーレ *Pravitoceras*

10 cm

sigmoidale は平面螺旋状に巻いてから、成長の最後に殻の巻が“ほどけて”フック状になるアンモナイトです。鳴門（香川県）や淡路島（兵庫県）などの白亜紀末カンパニアン期後期の地層から多産することで知られています。北海道では、2008 年に日高地域から第一標本が発見・報告されています。

今回は、伊豆倉正隆氏（札幌市）が新たに発見した 2 標本を報告していただきました。

発表論文（英文）：重田康成（国立科博）・伊豆倉正隆（札幌市）p. 1-10



プラビトセラスの全体像

日高地域からカンパニアン期中期のアンモナイト群の発見



北海道には後期白亜紀の海の地層が広く分布し、そこからアンモナイトが多産します。しかし、カンパニアン期中期～後期のアンモナイトについては産出が稀であるため、研究があまり進んでいません。

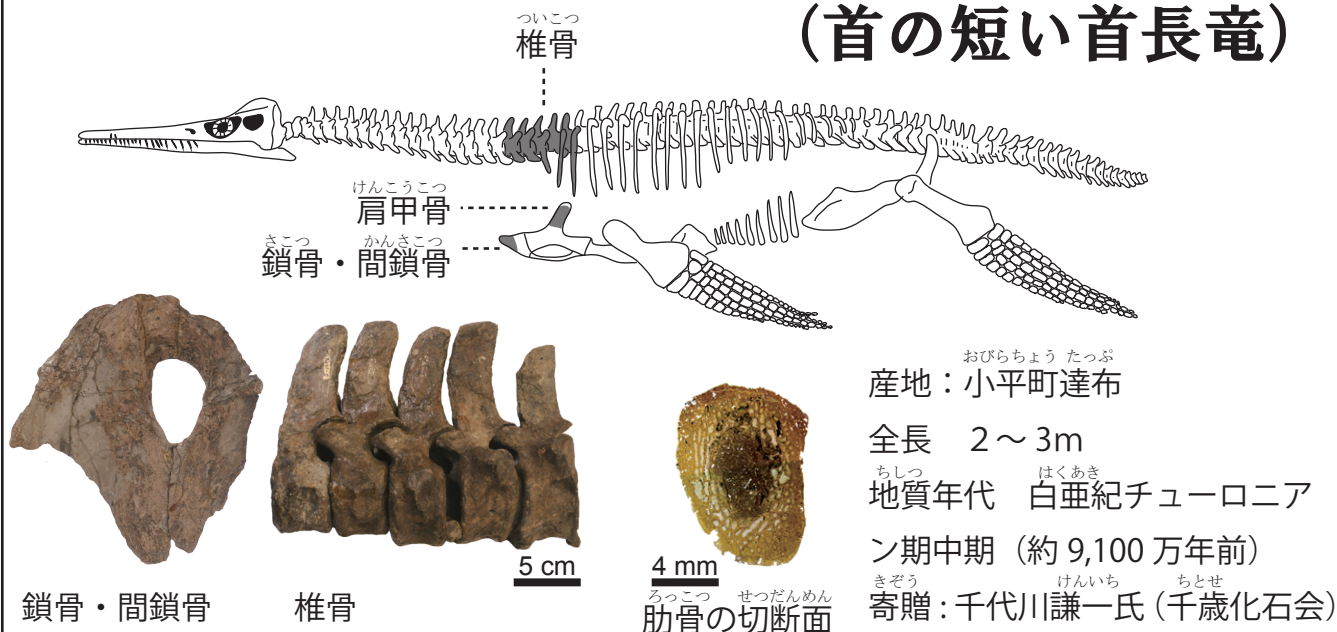
今回、報告していただいた日高地域から新たに発見されたアンモナイト群は、カンパニアン期中期の「宗谷型アンモナイト群」とよばれる種群のもので、これまでに宗谷やサハリンで発見されていたものと同じ群集であることが分かりました。

発表論文（英文）：重田康成（国立科博）・伊豆倉正隆（札幌市）p. 11-25

報告された宗谷型アンモナイト

日本で3例目のポリコティルス類

(首の短い首長竜)



産地：小平町達布

全長 2～3m

地質年代 白亜紀チューロニア

ン期中期 (約 9,100 万年前)

寄贈：千代川謙一氏 (千歳化石会)

ホッピーだより No. 348、364 で紹介した首長竜に関する論文の出版が決定し、これが学術論文で記載されたものとしては、日本で3例目のポリコティルス類となりました。また、骨内部の組織の観察から、この個体が、大人もしくは大人に近い成長段階であることなどが分かりました。ポリコティルス類で骨内部構造が調べられたのは世界で初めての例となります。この化石は常設展示室で展示しています。

(詳しい情報は穂別博物館HPのプレスリリース <http://www.town.mukawa.lg.jp/3391.htm> のページにあります。)

発表論文 (英文)：佐藤たまき (東京学芸大)・花井智也 (東大)・林昭次 (岡山理科大)・西村智弘 (穂別博), 日本古生物学会欧文誌, 印刷中

学芸員 西村智弘

恐竜デー

2018.5.3 (木・祝)、5.4 (金・祝)、5.5 (土・祝)、5.6 (日)

●恐竜 むかわ竜が産出した崖の岩石プレゼント

各日、先着 50 名

●アンモナイトレプリカアクセサリーづくり (10:00～16:00)

1 個 100 円。むかわ町民は各日 1 個まで無料。



中村記念館開館



今年度開館日・観覧時間

4/21～8/31 9:30～16:30

休館日は博物館休館日と同じです。

観覧料

100 円

高校生以下無料

むかわ町穂別博物館

【公共交通機関による来館案内】(バス停「穂別中央」～博物館は徒歩約 10 分)

往路 (札幌・苫小牧方面▶博物館)

・新千歳空港 10:40 ①▶穂別中央 12:03

・苫小牧駅 7:58 ②▶鶴川駅 8:27 -(乗換)- 鶴川駅前 9:35 ③▶穂別中央 10:45

帰路 (博物館▶札幌・苫小牧方面)

・穂別中央 16:17 ①▶新千歳空港 17:40

・穂別中央 15:40 ③▶鶴川駅前 16:45 -(乗換)- 鶴川駅 17:55 ②▶苫小牧駅 18:24

①道南バス 新千歳空港直行便 (1,470 円) 前日の 16 時までに予約 (0145-45-2284)

② JR 日高本線 (640 円)

③道南バス 穂別鶴川線 (200 円) ※各料金は大人 1 人分

2018 年 4 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2018 年 5 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日 町民無料観覧日